

news

αオリゴ糖での生活習慣病対策を講演

痩せホルモン・

アディポネクチン産生がカギ

シクロケム

した「CoQ10包接体」「R-αリポ酸包接体」を摂取することが有効であると話した。

シクロケム(東京都中

央区、☎03・6262・

1511)の寺尾啓二社

長【写真】は11月7日、

第12回アジアシクロデキ

ストリンカンファレンス

と第41回シクロデキスト

リンシンポジウムの合同

会議に登壇し、αオリゴ

糖(α・シクロデキスト

リン)をはじめとした機

能性素材の活用による生

活習慣病対策を語った。

寺尾社長は、生活習慣

病の代表的な疾患である

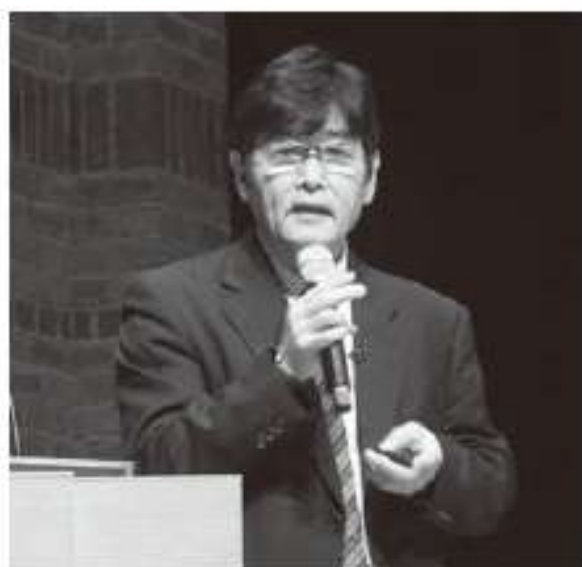
糖尿病、動脈硬化、肥満

にはいずれも「痩せホル

モン」といわれるアディ

ポネクチンが深く関与し

ているとし、それぞれの



疾病への対策を解説した。

糖尿病については、α

オリゴ糖の血糖値上昇抑

制作用に加え、CoQ10

やR-αリポ酸を摂取す

ることで糖代謝の改善が

期待できるが、いずれも

吸収性や安定性が低いた

め、γ-オリゴ糖で包接

われている。

しかし、近年の研究で

は、動脈硬化を引き起こ

す真のリスク因子は直径

25μm以下の「小型LD

L」であることが明らか

になっており、αオリゴ

糖は小型LDLを抑制す

る効果がヒト臨床試験で

明らかになっているこ

動脈硬化に

ついては、一

般的に「悪玉

コレステロー

ル」と呼ばれ

るLDLコレ

ステロールを

スタチン系の

医薬品で抑制

する治療が行

と、そしてスタチン系の医薬品を摂取することでアディポネクチンが減少し、生体内でのCoQ10の生成が抑制され、糖尿病リスクが飛躍的に高まることを指摘した。

肥満については、脂肪

細胞が肥大化するとア

ディポネクチンの分泌が

低下すること、大根に含

まれる辛味成分・MTBIをαオリゴ糖で安定化

させた「ダイコンαオリ

ゴパウダー」を摂取する

ことで、肥満抑制効果が

期待できるとした。

同社では、今後もαオ

リゴ糖やγオリゴ糖の機

能性に関する研究をさら

に強化していくことも

に、医療関係者をはじめ、

専門家に対する啓もうに

も一層注力していく方針

だ。